

地区番号:1 地区名:旧市

NO.1

分類:B-1 土地-検地

番号	分類	年号(西暦)干支年月日	標 題	差出人(役名・名前)	受取人(役名・名前)	摘 要	備 考	原本 コピー 写真	形 態	数 量	箱 番 号
近世 1	B1	貞享5(1688)辰年	辰御検地名寄帳	嶋田町下手組(表紙)	なし	各名請人ごとに田畑等級、面積、分米が記載される。後年、赤色で訂正。虫喰著しい。		原	横帳	1	1
近世 2	B1	貞享5(1688)辰年4月	駿州志太郡嶋田町堤外新田並中川原見取場辰御検地帳	長谷川藤兵衛 手代 荻野三郎兵衛、万年三左衛門 手代渡部陸右衛門、	なし	長谷川藤兵衛、万年三左衛門の奥書あり		原	縦帳	1	1
近世 3	B1	貞享5(1688)辰年4月	欠(検地帳)	長谷川藤兵衛 手代3名、万年彦衛門 手代3名	なし	場所、土地種類、反別、名請人を記載		原	縦帳	1	1
近世 4	B1	貞享5(1688)辰年4月	駿州志太郡嶋田町新田辰御検地水帳 五冊之内大津道上中溝南	長谷川藤兵衛 手代荻野三郎兵衛外2名、万年三左衛門手代渡部陸右衛門 外2名	なし	反合 63町1反9畝24歩		原	縦帳	1	1
近世 5	B1	貞享5(1688)辰年4月	駿州志太郡嶋田町新田辰御検地水帳 五冊之内大津道下	長谷川藤兵衛 手代荻野三郎兵衛外2名、万年三左衛門手代渡部陸右衛門 外2名	なし	反合 40町2反9畝12歩		原	縦帳	1	1
近世 6	B1	貞享5(1688)辰年4月	駿州志太郡嶋田町新田辰御検地水帳 五冊之内南横井上	長谷川藤兵衛手代荻野三郎兵衛外2名、万年三左衛門手代渡部陸右衛門外2名	なし	反合 17町9反1歩		原	縦帳	1	1
近世 7	B1	貞享5(1688)辰年4月	駿州志太郡嶋田町新田辰御検地水帳 五冊之内大津道上中溝北	長谷川藤兵衛 手代 荻野三郎兵衛外2名	なし	反合 97町5反14歩		原	縦帳	1	1
近世 8	B1	貞享5(1688)辰年4月	駿州志太郡嶋田町新田辰御検地寺社、町屋敷除帳(写)	なし	なし	屋敷、田畑の等級、面積とその所有者(各寺院)を記載		原	縦帳	1	1
近世 9	B1	正徳2(1712)年	駿州志太郡嶋田町御改新田辰御検地帳	なし	なし	下々田の石盛:7、下畑の石盛6 反別:30町2反3畝7歩、分米:211石1斗6升7合		原	縦帳	1	1
近世 10	B1	宝暦8(1758)戊寅年10月	駿河国志太郡嶋田町新田検地帳	代官:岩出伊右衛門 外	なし	場所、土地種類、反別、石高、名請人を記載 6尺1分の竿にて1反300歩と定める。		原	縦帳	1	1
近世 11	B1	天明3(1783)癸卯年	駿河国志太郡嶋田町新田検地帳	代官:岩松主税 外	なし	地名、田畑種類、石高、名請人を記載 1間は6尺1分、300歩を1反とする。		原	縦帳	1	1
近世 12	B1	寛政元(1789)己酉年8月	駿河国志太郡嶋田宿新田検地帳	代官:野田松三郎 外	なし	見付田畑合 高:16石1斗7升9合、反別:2町9反1畝18歩 6尺1歩の間竿、1反を300歩とする		原	縦帳	1	1
近世 13	B1	なし(江戸期)丑年3月14日	畑田成高反別書上(嶋田宿)	嶋田宿名主:孫兵衛、同:桑原古作	伊奈半左衛門様 島田御役所	本田高、新田高を書き上げ		原	縦帳	1	1
近世 14	B1	なし(江戸期)	覚	欠	欠	検地帳、高寄帳等を、その冊数と共に年代を追って記載		原	状	1	1
近世 15	B1	明治4(1871)辛未年9月	駿河国志太郡島田宿新田御検地帳(写)	静岡県大属 男谷忠友 外	なし	屋敷の検地、石盛1石代 屋敷反別14町4反6畝歩		原	縦帳	1	1
近世 16	B1	明治4(1871)未年9月	本田新田御検地帳合寄下島田宿	静岡県庁	なし	貞享5、宝暦8、寛政3年の田畑、屋敷、反別と石高並びに石盛を記入し、合計を算出		原	縦帳	1	1
近世 17	B1	明治4(1871)辛未年9月	駿河国志太郡島田宿新田検地帳	静岡県庁	なし	石高、名請人のみ記載あり		原	縦帳	1	1
近世 18	B1	明治4(1871)年	高反別小前書上寄帳志太郡島田宿	なし	なし	田畑・等級ごとの反別、石高、代金を書き上げる		原	横帳	6	1
近世 19	B1	明治7(1874)甲戌年7月	島田宿元陣屋邸内反別書上	第6大区10小区島田宿戸長秋野平八 外3名	静岡県権令 大迫貞清	元陣屋邸内を士族に渡地した、その各人の屋敷の反別、地代を列挙する。		原	縦帳	2	1

地区番号:1 地区名:旧市

NO.2

分類:C-1 貢租一年貢

番号	分類	年号(西暦)干支年月日	標 題	差出人(役名・名前)	受取人(役名・名前)	摘 要	備 考	原本 コピー 写真	形 態	数 量	箱 番 号
近世20	C1	天保13(1842)寅年	御免状割付書	古作	なし	石高、取米を記載		原	状	1	1
近世21	C1	嘉永元(1848)年9月	本田・新田申起返御取箇仕出写	桑原古作 扣(表紙)	なし	田畑、石高、反別、取米等を記載		原	縦帳	1	1
近世22	C1	安政5(1858)午年9月	御代官 山内五左衛門様嶋田御役所 御切手地方 安政5年9月より	略	略	廻米請取(1)、年貢金等請取(6)、国役金〔永〕請取(4)、年貢請取(2書付御役所(2)、受取米手形(2)、紺屋町御役所請取書(1)		原	状	18	1
近世23	C1	文久元(1861)年4月	今川要作様御請取書御切手入(袋表) 4月 地方	略	略	金子請取(16)、米請取(4)、永請取(6)、廻米代請取(2)、銭請取(1)		原	状	29	1
近世24	C1	慶応元(1865)年10月	丑御年貢可納割付之事 駿河国志太郡嶋田宿	伊奈半左衛門	右村名主、組頭、惣百姓	納合 米1270石5斗2升1合、永6貫338文7分、鐿4貫819文		原	状	1	1
近世25	C1	慶応2(1866)寅年3月	丑御年貢皆済目録 駿州志太郡嶋田宿	中 誠一郎	右村 名主、組頭、百姓代	高2970石8斗5升2合 本年貢、伝馬宿入用の外に、油絞・酒造・質屋稼算加などある		原	状	1	1
近世26	C1	慶応2(1866)寅年10月	寅御年貢可納割付之事 駿河国志太郡嶋田宿	中山誠一郎	右村 名主、組頭、惣百姓	高2515石9斗5升5合 納合米1270石5斗2升、永6貫338文7分、鐿4貫819文		原	状	1	1
近世27	C1	慶応3(1867)卯年3月	寅御年貢皆済目録 駿州志太郡島田宿	中 誠一郎	右宿 名主、組頭、百姓代	高2970石8斗5升2合。本年貢の外に、油絞・酒造・質屋稼算加永がある。なお、六尺給米と御蔵前入用は御伝馬宿に付き免除される。		原	状	1	1
近世28	C1	欠(江戸期)	辰御収納皆済目録(写) 島田宿	なし	なし	本途物成の他に、油絞・酒造・質屋貸しの各算加永等がある。		原	縦帳	1	1
近世29	C1	欠(江戸期)	欠(米請取)	なし	なし	合 27俵3斗1升7合請取		原	状	1	1
近世30	C1	慶応4(1868)辰年正月	卯御年貢皆済目録 駿州志太郡島田宿	田 寛蔵	右村 名主、組頭、百姓代	高2970石8斗5升2合 本年貢の外に御伝馬宿入用、油絞・酒造の算加永等がある。		原	状	1	1
近世31	C1	明治元(1868)辰年10月	辰御年貢割付(嶋田宿)	中尾金平、斎藤東太郎、神山三郎左衛門	名主、組頭、惣百姓	高2515石9斗5升5合、納;米1271石4斗7升2合、外に、永、鐿を納入		原	縦帳	1	1
近世32	C1	明治3(1870)庚午年10月	午割付 嶋田宿	島田郡方御役所	名主、組頭、惣百姓	高2515石9斗5升5合 納合米1286石5斗7升6合		原	縦帳	1	1
近世33	C1	明治4(1871)未年2月	去午御年貢皆済目録	嶋田御役所	右村 名主、組頭、百姓代	油絞、酒造、質屋等の算加永を書き上げ		原	縦帳	1	1
近世34	C1	明治5(1872)壬申年3月	辛未租税皆済目録 島田宿	静岡県庁	名主、組頭、百姓代	高 3115石4斗5升2合		原	縦帳	1	1
分類:C-2 貢租一課役											
近世35	C2	嘉永2(1849)年9月	西御切手類	略	略	御国恩上金請取 御国恩年割上納金受取り等 多数		原	袋入	1	1
近世36	C2	明治3(1870)午年3月	水縁村々親高・水防高・助郷高取調書上帳～島田宿より8か村 村書扣 認直し～本書は水利御役所へ差上候。天野孫六扣	碓井敬太郎	水利御改御役所	島田宿より東、すなわち大井川東側の村々を書き上げる。		原	縦帳	1	1

地区番号:1 地区名:旧市

NO.3

分類:D-1 村制・戸口-村概況

番号	分類	年号(西暦)干支年月日	標 題	差出人(役名・名前)	受取人(役名・名前)	摘 要	備 考	原本 コピー 写真	形 態	数 量	箱 番 号
近世 37	D1	天明8(1788)申年正月	島田宿高反別並明細書上帳	島田宿御伝馬人 六郎右衛門	なし	嶋田宿高2954石6斗7升3合、反別356町7反3畝23歩。同宿勢要覽的に記載する。	渡辺家文書、昭和61年渡辺義郎氏寄贈	原	縦帳	1	1
近世 38	D1	安政5(1858)年	安政4巳年3月より安政5年2月迄出生人名取調書上下帳 第6区10小区志太郡島田宿扣	島田宿戸長 天野孫六	第6、7大区 区長御中	調査年月は明治10年11月。安政のこの1年間で出生者は85名。その内、免役の規則に相当する者は80名で、それぞれの者に職業を添え書き。		原	縦帳	1	1

分類:D-2 村制・戸口-村政

近世 39	D2	文久2(1862)戌年正月吉日	諸用留	なし	なし	島田宿周辺村々の廻状順、助郷に対する謝礼金、嶋田宿助郷該当村々等を書き上げる。明治3年まで。		原	半横	1	1
----------	----	-----------------	-----	----	----	--	--	---	----	---	---

分類:D-3 村制・戸口-村入用

近世 40	D3	天保15(1844)辰年3月14日	覚	郡中惣代御備金取扱人 嶋田宿名主古作、同組頭定四郎 外2名	嶋田宿地方御役人中	金5両、備元立金50両の利息5両の上納の覚え		原	状	1	1
近世 41	D3	弘化2(1845)巳年3月2日	覚	郡中惣代御備金取扱人嶋田宿名主古作 同組頭定四郎 外2名	嶋田宿地方御役人中	金5両、備元立金50両の利息5両の上納の覚え		原	状	1	1
近世 42	D3	弘化3(1846)午年3月20日	覚	郡中惣代備金取扱人名主古作、備金取扱人組織平左衛門 外2名	嶋田宿地方御役人中	金5両、備元立金50両の利息5両の上納の覚え		原	状	1	1
近世 43	D3	弘化4(1847)未年3月10日	覚	郡中惣代借金備金取扱人名主古作、同組頭 平左衛門 外2名	嶋田宿地方御役人中	金5両、備元立金50両の利息5両の上納の覚え		原	状	3	1
近世 44	D3	弘化5(1848)申年1月21日	覚	郡中惣代備金取扱人名主 古作、組頭 平左衛門 外2名	嶋田宿地方御役人中	郡中御備元立金として、金5両、利息1割で受取る		原	状	1	1

分類:D-4 村制・戸口-戸口

近世 45	D4	明治5(1872)年10月	乍恐以書付奉申上候	百姓 岡島小市 代 弟岡島幸作	島田駅差添与頭 松本豊元	兄小市が遠州成行村海岸にて、藤吉殺害の容疑をうける。この兄は事件後100日経過するもなお行方不明であることを届け出る。		原	綴り	1	1
----------	----	---------------	-----------	-----------------	--------------	---	--	---	----	---	---

分類:E-4 諸産業-林業

近世 46	E4	慶応元(1865)丑年11月6日	御林根伐證文之事	伊奈半左衛門元手代 村松孝三郎	右宿役人中	島田宿の板橋普請木として、松木23本を伐採して渡す。ついでには、根伐1本について苗木3本植付け、根付き次第届け出る。		原	状	1	1
----------	----	------------------	----------	-----------------	-------	--	--	---	---	---	---

分類:F-1 商業-一般

近世 47	F1	文政8(1825)酉年11月17日	覚	平町 世話人	飯塚儀助	金3両1分2朱、永98貫4文1厘5毛、この錢658文渡すので受取りたし。	渡辺義郎家文書昭和61年寄贈	原	状	1	2
近世 48	F1	弘化4(1847)未年2月	御役所御切手入(袋)	略	嶋田御役所	水防高役金請取、納不足買納代金請取、陣屋修復入用金請取 等		原	袋入	1	2
近世 49	F1	嘉永元(1848)年	御役所御遣し御切手入 嶋田宿	略	略	水防御普請高役金請取、年貢米請取 等		原	袋入	1	2
近世 50	F1	文久3(1863)年10月	伊奈半左衛門様御役所御切手入(袋)(嶋田宿地方)	略	略	出張所入用請取、印廻米納不足買納代、等 多数(袋入)		原	袋入	1	2
近世 51	F1	なし(江戸期)	覚	なし	略	酒造冥加金の納入分の請取書 (13枚)		原	袋入	1	2

地区番号:1 地区名:旧市

NO.4

分類:F-2 商業-金融

番号	分類	年号(西暦)干支年月日	標 題	差出人(役名・名前)	受取人(役名・名前)	摘 要	備 考	原本 コピー 写真	形 態	数 量	箱 番 号
近世52	F2	文政元(1818)寅年12月	当寅年田並取調中諸入用割合帳	なし	なし	金子とそれを分担した「組」を記載。文末に「これは宿方無尽落札金にて出金の積り仕訳」とある。		原	横帳	1	2
近世53	F2	文政5(1822)午年	奥印帳 伝助	なし	なし	借請金、質物、無尽落札、田地流れ 等につき奥印。虫食い著しい		原	横半	1	2
近世54	F2	文政13(1830)寅年	欠(奥印帳)	なし	なし	無尽落札、質物書入、田畑譲渡 等につき奥印。虫食い、水損著しい。		原	横半	1	2
近世55	F2	天保11(1840)子年	欠(奥印帳)	なし	なし	田地質流、田畑質入 等につき奥印。水損、虫食い著しい。		原	横半	1	2
近世56	F2	天保13(1842)寅年9月	欠	田地譲主 勘右衛門 外2名	半右衛門	田地売買のメモ。講落札金の質物(田地)書き入れ。		原	横帳	1	2
近世57	F2	天保14(1843)卯年5月	譲渡申田地證文之事	田地譲主 庄吉、外親類・證人	藤吉	金子27両、下々田・下畑と引き替えに受取る。その田畑は坪付として別に表示する。理由は年貢未納。		原	状	1	2
近世58	F2	嘉永4(1851)年	当亥御切手入(袋入)	なし	なし	・江戸廻米納方会所入用(金)請取 ・国役金請取 ・江戸廻米納筈菰代永請取		原	袋入	3	2
近世59	F2	なし(江戸時代)	置米切手	略	なし	表に「甲子、御置米老俵、桑原古作」と表記	渡辺義郎家文書(本通り7丁目)	原	和紙	20	2
近世60	F2	なし(江戸時代)	買継米切手	略	なし	表に「甲子、買継米老俵、桑原古作」と表記(43枚の内1つは袋入)	渡辺義郎家文書(本通り7丁目)	原	和紙	43	2
近世61	F2	なし(江戸時代)	小物成米切手	略	なし	表に「癸亥 小物成米俵 桑原古作」と表記	渡辺義郎家文書(本通り7丁目)	原	和紙	11	2
近世62	F2	なし(江戸時代)	米切手	略	なし	「乙丑御給米老俵 藤四郎」と表記 裏面に換え期限を明示している札もある	渡辺義郎家文書(本通り7丁目)	原	状	5	2

分類:G-1 交通・通信-宿駅

近世63	G1	貞享元(1684)子年7月	駿州志太郡嶋田町御伝馬役高割に仕候覚書	長谷川藤兵衛	高木伊勢守・大岡備前守・彦坂伯耆守・中山隠岐守・佐野六右衛門・国領半兵衛	嶋田町における伝馬役、歩行役は屋敷の間口の多少により割付け、不足の分は田地高割りにしてあることを具体的に説明	渡辺義郎家文書(本通り7丁目)	原	状	1	2
近世64	G1	貞享元(1684)子年7月	駿州志太郡嶋田町御伝馬歩行役割付申候覚	長谷川藤兵衛	高木伊勢守・大岡備前守・彦坂伯耆守・中山隠岐守・佐野六右衛門・国領半兵衛	御伝馬歩行役、金368両～これを屋敷にて勤める分と、無役屋敷より出金する分と御伝馬立者持高を以て作馬にて勤める分とに分けて記載する。なお、この文書は、寛保2年、山崎新蔵が写したものの	渡辺義郎家文書(本通り7丁目)	原	状	1	2
近世65	G1	享保14(1729)酉年正月吉日	御大名帳(裏表紙 駿州嶋田大本陣)	なし	なし	享保14年酉から享保15年戌2月までの諸大名等の嶋田宿における宿泊・休息等、止宿での彼等の動向にも触れながら記録する。		原	縦	1	2
近世66	G1	安永8(1779)年	欠	欠	欠	京都御使吉良左京大夫が富士川水増しにてそこに逗留。従って、嶋田宿逗留が予定より遅れる。ところが、この日は別の大名の宿泊予定になっている。このことについて宿内の割り当てにつき話し合う。		原	縦	1	2
近世67	G1	寛政2(1790)戌年5月	宿入用元払差引目録帳 嶋田宿	野田松三郎御代官所嶋田宿 問屋次郎兵衛、名主年寄孫兵衛・弥惣次、与頭市部兵衛・伝四郎	石川勘大夫・大竹又三郎	金子取立ての内訳として、「町並御伝馬屋敷、小間役金」「歩行役屋敷取立、差渡金として、「問屋、年寄宿賄問屋場大井河請役人」「川越人足割賦」等が記載される。	いけだ古美術より購入	原	縦	1	2

地区番号:1 地区名:旧市

NO.5

分類:G-1 交通・通信-宿駅

番号	分類	年号(西暦)干支年月日	標 題	差出人(役名・名前)	受取人(役名・名前)	摘 要	備 考	原本 コピー 写真	形 態	数 量	箱 番 号
近世 68	G1	天保8(1837)酉年12月10日	預證文一札	薩州金方添役 海老原宗之丞	島田駅 置塩藤四郎	島田駅川方役へ金子900両貸し渡す。奉行證文は当方にて預かる。元利金皆納の折りにこの證文を返済する。	渡辺義郎家文書、(本通り7丁目)	原	状	1	2
近世 69	G1	天保11(1840)庚子年10月	往来諸用留	置塩	なし	冒頭に目録があり、第1～第31までとなっている。その中には、・本陣名目始之事・延享年中本陣旅籠屋江御解三事・天明年中御大名様御用通行・御宿之儀御請證文之事等を記録している。		原	縦	1	2
近世 70	G1	嘉永3(1850)戌年3月12日	御役所御切手入 (袋入 桑原)	略	なし	嶋田陣屋備金、修復金請取(5)、大井川東側通水防高役金請取(1)、江戸廻米納不足買納代金請取(1)、その他「覚」(3)		原	状	10	2
近世 71	G1	嘉永6(1853)丑年正月吉日	御役所御切手入(袋) 嶋田宿地方	略	略	酒造冥加請取(17)、蔵米渡し(7)、年貢米請取(6)、外多数(33)但し、江戸時代は嘉永6年のみで、明治は5年まで。		原	状	63	2
近世 72	G1	安政6(1859)未年8月3日	差入申一札之事	薩州 山下信七郎	嶋田駅本陣 置塩藤四郎	金2朱と126文、駄賃分借用(主用に付)。大阪表に着いた上で返済。	渡辺義郎家文書、(本通り7丁目)	原	状	1	2
近世 73	G1	文久3(1863)亥年5月	大名宿泊ニツキ三通 (三状一組)	駿州嶋田宿御本陣 九郎次新右	(尾州様・紀州様)	諸大名の御止宿については、大家、小家に限らず先約の者を優先する、等を書き添える。	渡辺義郎家文書、(本通り7丁目)	原	状	1	2
近世 74	G1	欠(江戸時代)	書簡(前欠)	欠	欠	嶋田宿への止宿は、公儀御用の方、諸大名は下りの時に、又、臨時に大井川支えの節は格別で、事前に通知あることは稀。(尾州・紀州侯にも言及している。)	渡辺義郎家文書、(本通り7丁目)	原	状	1	2
近世 75	G1	欠(江戸時代)	飛脚米切手	略	なし	表紙「御飛脚米老俵 吉太郎」等の表記あり 裏表紙に期限を明示しているものもある	渡辺義郎家文書、(本通り7丁目)	原	和紙	33	2
近世 76	G1	欠(江戸時代)	御伝馬切手	なし	略	袋入12枚 1枚切手131枚「壬戌御伝馬老俵 甚左衛門」等の表記で、裏に引換え期限月が記されているものもある	渡辺義郎家文書、(本通り7丁目)	原	和紙	143	2
近世 77	G1	欠(明治初期)	米切手	島田駅方	なし	「貸米五合 島田駅方 此札他所より持参候共引替不申候」という表記の方法。	渡辺義郎家文書、(本通り7丁目)	原	和紙	21	2

分類:G-2 交通・通信-助郷

近世 78	G2	欠(江戸時代)	人馬賃銭式百文預り	なし	なし	藤枝宿助郷限 巳九月限りのもの		原	状	1	2
近世 79	G2	明治2(1869)巳年3月	御大名様御渡川帳 (裏)平林権蔵	なし	なし	川越しの大名の遣札枚数、金子配分状況とその氏名等を記載		原	横	1	2

分類:G-3 交通・通信-通行

近世 80	G3	安永9(1780)年正月	御往来(後欠) (裏)平林	なし	なし	島田宿を上り下りする諸大名とその家来等の行列構成、宿泊に要する金子並びに金子を配分される者の氏名を記す。川割り担当者も記載。前部破損		原	横	1	2
近世 81	G3	寛政2(1790)年	加賀守様甲斐守様備前守様御渡川之帳 平林権蔵(裏表紙)諸天加護所	なし	なし	諸大名の川越しの構成、それに要する川札、宿側への配布金子等を列挙 寛政11年まで		原	横	1	2
近世 82	G3	享和3(1803)亥年4月	東海道大井川口明之節諸大名並往来之旅人越立取計方向書 写	小野田三郎右衛門 野田松三郎	御勘定所	川留めの口明けの節は川越し希望者が殺到して混乱する。そこで、諸大名や一般旅人の川渡し方の解決策(案)を提示(伺い)		原	縦	1	2

地区番号:1 地区名:旧市

NO.6

分類:G-3 交通・通信-通行

番号	分類	年号(西暦)干支年月日	標 題	差出人(役名・名前)	受取人(役名・名前)	摘 要	備 考	原本 コピー 写真	形 態	数 量	箱 番 号
近世83	G3	文化10(1813)癸酉年正月	三月様御渡川扣	なし	なし	文化10年から天保5年まで、大名森氏が道中島田宿で要した費用等を具体的に記録	常設展示室に 出展中	原	横半	1	2
近世84	G3	文化11(1814)戌年	蓮池様、小城様、鹿島様御渡川扣帳(裏表紙)稲荷大明神 平林権蔵	なし	なし	諸大名の川越し構成、必要川札数、宿側への配布金子等を記載文政5年まで記す		原	横	1	2
近世85	G3	文政6(1823)未年正月	小城様・蓮池様・鹿島様御渡(後欠)(裏表紙)大井大明神	なし	なし	両大名の川越しに要する宿側の人数、大名が支払う金子とその氏名を記載		原	横	1	2
近世86	G3	文政6(1823)未年10月吉日	肥州様御許御渡し方手覚	なし	なし	東海道を上り下りした折りに渡した金子と、その請取人を記載		原	横	1	2
近世87	G3	文政6(1823)未年10月	肥州様御渡川扣帳	なし	なし	文政6年から天保3年に至るまでの大井川越しをした諸大名(供人数・費用等)を記載	常設展示室に 出展中	原	横	1	2
近世88	G3	天保8(1837)酉年12月10日	預	薩州金方添役 海老原宗之丞	島田 置塩藤四郎	島田駅川方役に1700両貸し渡して証文を受取った。これにつき、来る未年に元利金共に皆納の証文を返却する	渡辺義郎家文書(本通り7丁目)	原	状	1	2
近世89	G3	天保10(1839)亥年10月	肥州様御渡(後欠)(裏表紙)平林権蔵	なし	なし	参勤に關しての遣札数、札金子の配布氏名等を記載		原	横	1	2
近世90	G3	弘化2(1845)巳年	欠(御大名様御渡川帳)	なし	なし	川越し大名の遣札枚数、金子配分状況とその氏名等を記載弘化2巳年、戌～巳まで掲載		原	横	1	2
近世91	G3	嘉永2(1849)酉年5月19日	源欽様御遺骸御渡川被下御目録	なし(尾張藩)	なし(島田宿川庄屋)	尾張藩侯の遺体を大井川渡し折りの折り、その働きにより謝金を給付	渡辺義郎家文書(本通り7丁目)	原	状	1	2
近世92	G3	嘉永3(1850)戌年	なし(連台函解)	大井川行事役 河村五郎右衛門	なし	各種連台の函解と台札、人足、川札の必要枚数を記載している	常設展示室に 出展中	原	状	1	2
近世93	G3	嘉永4(1851)亥年2月17日	書状(二月十七日御尋に付而至用)	尾州 松平茂平	置塩藤四郎	大井川川越し人足への飯・酒代下金は古来5両、天保11年には3両増しの8両であったが、もともとこの3両はその都度吟味して与えるもので、下金の慣習ではない。だから以後この3両は与えないこととする。	渡辺義郎家文書(本通り7丁目)	原	状	1	2
近世94	G3	安政2(1855)年3月10日	尾州様御帰国之節被下安政二卯年三月十日御渡川 外1	なし	なし	置塩藤四郎、その倅、親類、問屋年寄、川庄屋、川越小頭等多数に下賜される金子、名前(役)を一覧	渡辺義郎家文書(本通り7丁目)	原	状	2	2
近世95	G3	欠(安政3年)(1856)年	欠(御大名様御渡川帳)	なし	なし	川越し大名の遣札枚数とその費用額、金子配分状況について記載(辰～戌まで)		原	横	1	2
近世96	G3	安政6(1859)未年4月	小城様・蓮池様・鹿島様・御渡川方扣(裏表紙)平林権蔵	なし	なし	川越しに關して、川札数とその金額、金子配布先の氏名を記載		原	横	1	2
近世97	G3	文久元(1861)辛酉年正月	御大名様御渡川方扣	平林権蔵(裏表紙)	なし	大井川渡川の諸大名等、供人数費用、川値段等を記載文久元年以降のものを記録	常設展示室に 出展中	原	横	1	2
近世98	G3	文久3(1863)癸亥年正月	肥州様御渡川帳	平林権蔵(裏表紙)	なし	遣札数とその費用、配布金子とその氏名等を記載 慶応4年まで		原	横	1	2
近世99	G3	文久3(1863)癸亥年3月	大垣様御渡川帳	なし	なし	遣札とその費用配分金子とその氏名等を記載		原	横	1	2
近世100	G3	元治元(1864)子年8月	岡崎様御渡川方扣	平林権蔵(裏表紙)	なし	必要遣札枚数とその費用額、配分金子とその氏名等を記載慶応元年まで		原	横	1	2
近世101	G3	慶応4(1868)辰年3月吉日	御大名様御(後欠)	平林権蔵(裏表紙)	なし	川越し大名の遣札とその枚数、配布金子とその氏名等を記載、いわゆる渡川扣		原	横	1	2

地区番号:1 地区名:旧市

NO.7

分類:G-3 交通・通信-通行

番号	分類	年号(西暦)干支年月日	標 題	差出人(役名・名前)	受取人(役名・名前)	摘 要	備 考	原本 コピー 写真	形態	数量	箱 番号
近世102	G3	欠(江戸時代)亥年6月	欠(川値段と出水の関係書き上げ)	金谷方川会所	なし	川巾と、脇通し・乳通しの各水位との関連を示し、川値段を94文としている	常設展示室に出展中	原	状	1	2
近世103	G3	欠(江戸時代)	欠(大井川渡方扣)	なし	なし	諸大名の家臣、宿年寄等渡川に関して、その人数・費用等を記載(横帳の断片)	常設展示室に出展中	原	横	3	2
近世104	G3	明治2(1869)巳年3月	御東幸御先駆として尾州侯より下し金	置塩藤四郎 外	原 純蔵	御一新につき御東幸、その際尾州侯がお供。この尾州侯より金10両を飯・酒代として頂戴する。その配布対象者を列挙する。	渡辺義郎家文書、本通り7丁目	原	状	1	2

分類:G-4 交通・通信-通信

近世105	G4	嘉永5(1852)子年4月26日	郡中廻状(島田御陣屋村・郡中惣代島田宿名主桑原古作・源助村始め)	郡中惣代島田宿名主桑原古作	志太・榛原郡中村々	提出した郡中諸入用帳には村々の押印がないので無効、5月15日迄に印形持参のこと		原	状	1	2
-------	----	------------------	----------------------------------	---------------	-----------	---	--	---	---	---	---

分類:H-1 水利・土木-水利

近世106	H1	寛政4(1792)子年10月	大井川東側拝借金村役金之訳仕立候書面	なし	なし	水防入用について、嶋田宿をはじめ道悦島、瀬戸新屋、与左衛門新田、下江留村等広範囲にわたり記載。また、「西側通(谷口村より川尻村まで)村役金並水防之訳」も同時に綴込み(文化4年まで)	※10~1	原	縦	1	2
近世107	H1	寛政10(1798)年8月	大井川通嶋田宿地内当午秋急場御普請御仕様帳(写)	なし	なし	普請に要した資材(沈杵、大聖牛等)と費用を記載する	いけだ古美術より購入	原	縦	1	2
近世108	H1	寛政10(1798)午年9月	瀬直御普請御修復願書扣嶋田宿	嶋田宿名主新五郎、組頭伝四郎、百姓代忠四郎	野田松三郎様紺屋町御役所	赤松〜向谷用水路は修復でよくなったが、用水の取り入れ口に当たる本瀬が土砂をかじり流れを西側(金谷)に変えるおそれあり、その修復工事を嘆願	いけだ古美術より購入	原	縦	1	2
近世109	H1	寛政11(1799)未年7月	乍恐以書付奉願申上候	嶋田宿・道悦島村・御請新田・細嶋村の各村方三役	嶋田御役所	川除普請については、近年物価上昇し資材調達が困難になっている。この修復をしなければ宿全体が困ることになる。ついては、当未年より5カ年間諸色代その外増し金を願いたい。	いけだ古美術より購入	原	縦	1	2
近世110	H1	寛政11(1799)未年9月	拝借願書(写)嶋田宿	嶋田宿問屋名主孫兵衛、年寄藤四郎・新右衛門・九郎次外三役連名	御役所	嶋田宿の用水は近年退川になり、水の誘引が困難になって来ている。この修復をしなければ宿全体が困ることになる。ついては700両拝借したい。	いけだ古美術より購入	原	縦	1	2
近世111	H1	享和4(1804)年正月	大井川西側通嶋田宿当子春定式御普請仕様帳	なし	なし	普請場所・用材・人足費用等を記載		原	縦	1	2
近世112	H1	嘉永5(1852)壬子年2月	向谷式番裏より八番裏迄大藪内押堀之場所 横堤築立自普請入用取調帳	名主桑原古作 外30名連印	欠	自普請にて元の形に取り繕い完了したので届け出。堤の長さ、必要砂利の量、人足賃金等を記載。	10~4	原	縦	1	2
近世113	H1	嘉永5(1852)子年閏2月	借用申金子證文之事	名主源兵衛、年寄格組頭定八、川庄屋兼組頭嘉十郎 外28名連印	金主御衆中	文政11、天保7年の両年は異例の大出水にて向谷2番よりお7番までの堤防が破損。その修復のため金子借用。返済は毎年2両3分、永175文を高割り返済。		原	縦	1	2
近世114	H1	なし(江戸時代)	大井川通嶋田宿地内瀬直御普請目論見帳	なし	なし	普請場所・用材・経費等を記載する	いけだ美術より購入	原	縦	1	2
近世115	H1	明治6(1873)年7月	一札之事(袋表書は「一札」)	加藤 大	塚本孫造	借地に水車を取付けるが、水筋が最寄りに差支えないようにする、また、田地に水が行き届かない時は休車にすることを約す		原	状	1	2
近世116	H1	欠(明治初期)	欠(大井川本瀬・枝瀬橋取付けの絵図)	欠	欠	本瀬長さ24間と枝瀬長さ27間の架橋の絵図。この絵図は明治元年天皇が京から東京に行幸された際の仮橋の写生図で、筆者は飯塚為八	常設展示室に出展中	原	状	1	2

地区番号:1 地区名:旧市

NO.8

分類:J-3 教育・文化-文化

番号	分類	年号(西暦)干支年月日	標 題	差出人(役名・名前)	受取人(役名・名前)	摘 要	備 考	原本 コピー 写真	形態	数量	箱 番号
近世 117	J3	宝暦5(1755)亥年	東海道巡覧記	京都 野田弥兵衛(出版)	なし	各宿の旅人に必要な情報を略記 ～川・舟橋・一里塚・問屋人の名前・里程等～	常設展示室に 出展中	原	横半	1	2
近世 118	J3	文政9(1826)丙戌年	諸国順覧懐宝道中図鑑	江戸日本橋 須原屋茂兵衛 蔵 版(裏表紙)		各街道宿内の里程等を書き上げ。絵入り	常設展示室に 出展中	原	横半	1	2
近世 119	J3	元治2(1865)丑年3月	道中日記	なし	なし	3月16日、大井川支向谷壺番前を出立して、以後東海道から名張へ向かい、それから奈良に入り、姫路、大坂、京と回遊して、帰路関が原まで記載している。	常設展示室に 出展中	原	横半	1	2
近世 120	J3	欠(江戸時代)年	道中独案内(定宿付)	大坂日本橋かわちや又六御たづ ね御入宿可被成候	なし	東海道、伊勢路等宿から宿までの里程など旅人の便になるようなものを簡単に記載する	常設展示室に 出展中	原	横半	1	2
近世 121	J3	欠(江戸後期)年	道中画譜 全	高井蘭山 刊	なし	江戸日本橋より京に至る東海道53宿の版画。表紙裏に”尾張東壁堂蔵版画譜画手本目録”とある。	常設展示室に 出展中	原	縦	1	2

分類:K-1 宗教・習俗・身分-宗教

近世 122	K1	文政12(1829)己丑年8月	大井川常唱堂略記 志願主 桑原二右衛門 敬白	大井川桑原、発起 慈眼一乗舎 熊沢誌	なし	大井川の自分越し等で流死した多くの人々に題目を唱え往生を祈願する		原	縦	1	2
近世 123	K1	嘉永4(1851)亥年9月吉日	御祭礼入用割付帳	世話人(表紙)	なし	割当金額とその人名を記載		原	横	1	2
近世 124	K1	嘉永4(1851)亥年9月	御祭礼入用取調帳	第一街世話人	なし	祭礼における出費金銭をその渡す相手方の名前と共に記載		原	横	1	2
近世 125	K1	嘉永4(1851)亥年	御祭礼入用取調並門割取立帳	第一街	なし	(標題の帳面を入れる袋のみあり)	※1～1	原	袋	1	2
近世 126	K1	嘉永7(1854)寅年9月	御祭礼諸入用取調帳	老丁目世話人	なし	祭礼での出費金銭をその渡す相手方の名前と共に記載		原	横	1	2
近世 127	K1	嘉永7(1854)年9月	御祭礼入用門割取立帳	なし	なし	門割金額とその人名を記載		原	横	1	2
近世 128	K1	安政4(1857)巳年9月	御祭礼諸入用取調帳	老丁目世話人	なし	祭礼での出費金銭をその渡す相手方と共に記載		原	横	1	2
近世 129	K1	安政4(1857)巳年9月	御祭礼門入用取立帳	老丁目世話人(表紙)	なし	割当て金額とその人名を記載		原	横	1	2
近世 130	K1	万延元(1860)庚申年9月	御祭礼諸入用取調帳 老街世話人	1丁目茂平、3丁目勇作、4丁目 吉左衛門、5丁目専蔵、6丁目喜 平	年番2丁目御世ハ役中	祭礼での出費金銭をその渡す相手方の名前と共に記載		原	横	1	2
近世 131	K1	万延元(1860)庚申年9月	御祭礼入用家別割取立帳	老丁目世話人(表紙)	なし	割当金額とその人名を列挙		原	横	1	2
近世 132	K1	文久3(1863)癸亥年9月	御祭礼諸入用取調帳 第壹街世話方	世話方茂兵衛 外14名連名	なし	祭礼での出費金銭を、その渡す相手方氏名(屋号付き)と共に記載		原	横	1	2
近世 133	K1	慶応2(1866)年9月吉日	当御祭礼入用取調帳	老丁目世話人(裏)	なし	祭礼での出費金銭をその渡す相手方の名前と共に記載		原	横	1	2
近世 134	K1	欠(江戸・明治初期)	当亥御祭礼御日待入用下調帳	なし	なし	出費金銭をその支払い相手方の名前(屋号)と共に記載		原	横	1	2
近世 135	K1	明治2(1869)巳年9月11日	蠟燭覚	なし	なし	蠟燭の丁数を日を追って記載		原	縦	1	2
近世 136	K1	明治5(1872)年9月大吉	当申御祭礼諸入用取調帳 第一街世話方	世話方 神戸半九郎 外8名、加 世話方和田常右衛門 外16名	なし	祭礼での出費金銭を、それを渡す相手方の名前と共に記載		原	横	1	2

地区番号:1 地区名:旧市

NO.9

分類:K-1 宗教・習俗・身分-宗教

番号	分類	年号(西暦)干支年月日	標 題	差出人(役名・名前)	受取人(役名・名前)	摘 要	備 考	原本 コピー 写真	形態	数量	箱 番号
近世 137	K1	明治5(1872)壬申年9月	祭礼入用払方取調帳	第一街世話人	なし	祭礼での出費金銭を、その渡す相手方の名前と共に記載		原	横	1	2
近世 138	K1	明治5(1872)年	黎流し衣裳渡方扣 壬申祭礼	なし	なし	衣裳の反数及び代金と、その使用方人名を記載		原	横	1	2
近世 139	K1	明治8(1875)年	黎流子供衣裳代取調帳 亥祭典	第一街世話人	なし	衣裳サイズと代金と子供の名前を記載		原	横	1	2

分類:K-2 宗教・習俗・身分-習俗

近世 140	K2	文化5(1808)戊辰年正月	念仏講有銭仕訳帳 浜小路講中	なし	なし	香典金額とその差出主を記載。後半部は「覚」として死者名と葬儀の供等を記載する。		原	縦	1	2
近世 141	K2	文化8(1811)酉年10月	念仏講有銭仕訳帳 花小路講中世話人幸吉	なし	なし	香典金額とその差出主、病死者と葬儀の供役等を記す		原	縦	1	2
近世 142	K2	明治5(1872)申年9月	芸者しきせ、借入割渡扣帳	なし	なし	借入割り渡し先人名を記載		原	横	1	2
近世 143	K2	明治5(1872)年	申御祭礼中老日待入用扣	なし	なし	先払い先ごとに金額と品物(食品)を列挙する		原	横	1	2
近世 144	K2	明治25(1892)年	楽屋諸器預人名簿 耄丁目	なし	なし	諸機器預かり先の氏名とその内訳、楽屋幕類の内訳を記載		原	横	1	2

分類:M 地図

近世 145	M	欠(江戸時代)年	遠州榛原郡城東郡の各村々助郷関係絵図	なし	なし	嶋田・金谷・日坂の助郷役にかかわる各村々が色違いで絵図に示される。	塚本文書、未見 仮NO.2848	コピー	図面	1	2
近世 146	M	欠(江戸時代)年	遠州榛原郡城東郡の各村々助郷関係絵図	なし	なし	嶋田・金谷・日坂の助郷役にかかわる各村々が色違いで絵図に示される。	塚本文書	コピー	図面	1	2

分類:X 家

近世 147	X	欠(明治初期)、11月2日	(書簡)	嶋田宿 置塩孫太夫	森 恒吉	尋ねたきことがあるので、明後日4ツ半時迄にこちらにきてもらいたい、と言う書状に対する承諾の返事		原	状	1	2
-----------	---	---------------	------	-----------	------	---	--	---	---	---	---

分類:Z 雑

近世 148	Z	欠(江戸時代)	(断簡)	欠	欠	各種領収書等断片		原	和紙	9	64
近世 149	Z	欠(明治時代)	(断簡)	欠	欠	各種領収書等断片		原	和紙	20	64